

## 学校再編方針にかかる地域説明会での質疑 【加西中学校区】

令和6年1月24日（水）

これから先、子どもがどのくらい減っていくのか、見込まれている数字を教えてください。

2ページの年齢別人口一覧は令和5年4月1日現在の人口である。今後も少子化の状況は、大きく改善することはないと認識している。ただし、そのまま指をくわえて見ているわけにはいかない。人口を確保していく施策が必要だと考えている。

2キロ以上がスクールバスの対象だが、現状2キロ以上を登校する児童がいる。今のままだもスクールバスは出せないか。

スクールバスは統合にあわせての導入を想定している。まだ統合のない学校においては現状のままとなる。最近は夏の暑さが非常に厳しい。4キロ相当を歩く小学生は多数いるので、非常に暑い時期に限るなど別の対応という形を検討することもあわせて考えている。

1年前は小学校の再編はしないという話だったが、急に統廃合という話になった。方針が変わると先生の対応も変わり、大変だと思う。そのことで子どもたちに影響が及ばないか不安に思う。

令和4年9月の答申から今回の方針に変わったことについては、再検討の中で、その時々学校や教育委員会で会議を行い、校長会とも常々情報共有をしてきた。その情報は先生方に随時伝わっているものと考えている。

小学校の統廃合は学校を建てないにしても予算は大丈夫なのか。

新たな中学校を作ることが一番大きな予算となる。約50億円必要となる。そのうち3割相当の金額が一時的に必要な。開校の令和10年までの間に、年間2、3億円ずつ貯める計画である。市の財政の負担にならないように貯金をする。また、小学校も一部改修が必要となる。中学校ほどではないが、一定程度のお金が必要になる。これは貯金ではなく通常の予算の中で対応する。学校の建設予算が、市の財政負担にならないよう十分に検討した上で計画を進めている。

現在、小学校単位で防災対策に取り組んでいる。統廃合になると、地域のつながりが希薄になってしまわないか。

加西市では、地域においても、しっかりされた区長会があり、各小学校区の結束力はそんな簡単に崩れるものではないと考える。また、ふるさと創造会議という取り組み、地域ごとの違いはあるが、小学校区単位での地域活動支援を継続して行っている。地域が希薄にならないよう注力していきたいと考えている。

当事者である保護者や子どもたちにしっかり説明が伝わるのか不安に思う。学校が統合して大きくなればなるほど行きづらくなる子どもが増えていく。そういった子どもたちへの対応はどのように考えているのか。

今回、中学生、中高生からもアンケートを取った。中高生は自分の卒業する、または卒業した学校が存続してほしいという声もたくさんあった。しかし、加西市の未来を考え、このような決断とした。

「中学生に対しては各中学校で、担任の先生から、こういう状況で、市としてはこういう結論になった。思いに添えない人もいると思うが、私たちは加西市の教育を前に進めていくために、このような決断をしたことについて話をしてください」と校長会でお願いしている。

大きな学校になったことで、一人一人が大事にされないということがあってはいけない。教員の資質向上が大きな要素となる。一朝一夕にはいかない。不登校の問題も含めて、学校に行きたい、学校が楽しいだけではなくて、子どもたちが粘り強く物事に取り組む、一つ一つのことについて友だちと色々な話ができる、自分の居場所がある、そういうことを教員自身がきちっとコーディネートできるように力を育てていく。この学校再編の大きな目標と考えている。

**さきほど区長会についての発言があったが、それはどういった意図なのか。**

地域での防災的な機能に関して、地域ではしっかりと自治会が運営されているという話である。

**学童保育の整備、あるいは学童保育の受け入れ体制はどうなっているのか。**

学童保育は統合後の場所で行うことになる。統合に伴って必要な整備がある場合は当然していかなければならない。

**施設の跡地利用は令和6年2月以降に検討とあるが、先送りしたようなニュアンスに受け取った。**

住宅団地の建設であるとか、いろんな形でビジョンを持っている。人口を増やすには人が住めるようになる施策を打つ必要があると考えている。

**実際に通われる保護者の声を聞く機会は考えているか。**

10月に実施したアンケートは小中学生の保護者に加えて、未就学児の0歳から5歳の子どもを持つ保護者全員から意見を伺い、今回の方針をまとめている。

**協議される内容は随時公表されるのか。こんな学校になってほしいという声を拾い上げてもらう機会があるのか。**

準備委員会も進めるが、それだけでは十分ではないと思う。要望があればこちらから学校へ伺う。随時そのような機会を設けて一緒に考えていきたい。